

六甲山地での土砂災害対策の取り組みを紹介

～出前講座（神戸市東灘防火安全協会）～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

神戸市東灘防火安全協会の平成26年度総会において、六甲山地の土砂災害対策の取り組みについて講演し、管内で過去に起こった土砂災害や、六甲砂防事務所の取り組みについて説明しました。

概要

日時：平成26年6月24日（火） 16:30～17:00

場所：生活協同組合コープこうべ生活文化センター

主催：神戸市東灘防火安全協会事務局

参加人数：50名

○六甲砂防事務所による出前講座

六甲砂防事務所では、砂防・防災への理解を深めていただくため、出前講座を実施しています。今回は東灘防火安全協会からの依頼により、六甲山地における土砂災害対策に関する説明を行いました。

※出前講座については、六甲砂防事務所ホームページをご覧ください。

(http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/pr_media/demaewelc.php)

○六甲山地での土砂災害

六甲山地は地形が急峻で、風化した花こう岩（マサ土）に覆われていることから、昭和13年や昭和42年には、豪雨により大規模な土砂災害が発生しています。

今回の講演では、昭和13年の阪神大水害による東灘区での被害状況を示す記録写真などを見て頂くとともに、当時の豪雨と昨年の台風18号接近に伴う豪雨との違いや、実際の土石流の流下の様子を記録した映像を見て頂き、土石流の特徴と、砂防えん堤の目的や機能を説明するとともに避難行動の重要性も説明しました。あわせて降雨時の注意点についても説明しました。



阪神大水害(昭和13年)による東灘区の被災状況(国道2号住吉橋付近)



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

